

項目	内容
■取組タイトル	平成 25 年度旭川市冬季防災訓練
■団 体 名	旭川市
■対象災害	冬期間における災害（地震・大雪等）によって、市内に被害が発生し、水道・電気・暖房等が停止した場合を想定しての訓練
■取組対象	旭川市民を対象
■概 要	1.訓練の狙い 前回の冬季防災訓練（平成 24 年 2 月 18 日～19 日）の検証結果等を踏まえ、今回は、市民を対象とした宿泊を伴う訓練を実施し、冬季の災害対応能力の向上を図る。また、併せて防災関係機関及協定先との連携を図り、情報の共有化及び人間関係の構築を図る。 2.訓練構成 半日訓練の部（宿泊体験不参加）と 1 日訓練の部（宿泊体験含む終日）の 2 部構成とする。
■目 的	冬季の大規模災害時における円滑な防災活動を期するため、防災訓練を実施して、災害対応能力の向上を図ると共に、併せて住民の防災意識の高揚を図り、安全・安心なまちづくりに寄与する。
■実施内容	【開催日時・場所】 ・日 時 平成 26 年 1 月 18 日（土）13:00～19 日（日）6:00 ・訓練構成 半日訓練：平成 26 年 1 月 18 日（土）13:00～17:00 1 日訓練：平成 26 年 1 月 18 日（土）13:00～19 日（日）6:00 ・場 所 旭川市立旭川小学校（旭川市東旭川町上兵村 322） 【実施時間】 13：00～翌）6：00 【参加人数】 参加人数：130 名 （内訳）市民：60 名（その内 13 名が宿泊体験を伴う 1 日訓練に参加） 関係機関等（市職員、自衛隊、警察、气象台、協定先）：70 名 【取組内容】 訓練では、コークスストーブの設置や炊き出し訓練、簡易トイレの組み立てのほか災害図上訓練（DIG）、宿泊体験などを実施した。 訓練開始時の室温は、約 0℃で、コークスストーブにより暖を取りながら実施した。   

	【他の事例】平成 23 年度旭川市冬季防災訓練 （経 緯） 旭川市の場合積雪寒冷地でありながら冬季の防災訓練を一度も実施しておらず夏季の訓練だけでは冬季の訓練には生かされない。 （訓練内容） 課 目：平成 23 年度旭川市冬季防災訓練 実施時期：平成 24 年 2 月 18 日（土）11:00 ～19 日（日）6:00 訓練構成：一般市民参加の訓練（2 月 18 日 11:00～16:00） 市職員参加の訓練（2 月 18 日 16:00～19 日 6:00） 参加人数：141 名 （内訳）市民：41 名 関係機関等：100 名（内市職員 51 名） （狙い） 2 月の厳寒期に避難所（体育館）において、コークスストーブ（3 台）を使用して、 ①市民の方には日中の寒い中での訓練を体験してもらう②市職員においては宿泊時に ライフライン停止下（電気・水道）での宿泊を体験してもらう③災害用備蓄品等の検 証を狙いとして訓練を実施（体育館平均温度：約 10℃～11℃） ※冬季防災訓練は初めてということから、宿泊体験については、市職員を対象に実 施した。
■成 果	1 避難所（体育館）内の温度が 10℃以下（平均温度 6～7℃）の中においても、コーク スストーブ（3 台）で寝ることが確認できた。（寝具として、寝袋・毛布・マット 等を使用） 2 アンケート結果から (1) 防災についての知識を身につけることができ、大変勉強になった。 (2) 「将来的な防災訓練の実施の必要性」について、「実施していくべき」「どちらか といえば実施していくべき」と回答者の全員が必要と認め、訓練の必要性につい て確認できた。 引き続き、訓練を通じて、市民の防災意識の高揚を図りながら、最終的には「自 助」「共助」に繋がっていくよう努力する。
■そ の 他	NHK・ポテト（ケーブルテレビ）・道新等から訓練について放映・掲載
■参考URL	http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/ （旭川市公式 HP）